

タイトル 介護と在宅ワークの両立  
-人と環境が支える母の時間-

設計 (株)土屋ホームトピア 施工 (株)土屋ホームトピア

タイプ 持家共同建

構造 鉄骨鉄筋コンクリート造

講評 間仕切りは高さ1300mmで建具をつくらない思い切った判断。立ち上がれば何処からでも見守りでき動線も楽で、暑い、寒い、空気の淀み、暗いなども解消。配管や排水勾配の確保、躯体壁の地下補正などで安心感も得て、家族の満足度は高く幸福感に繋がっている。

リフォーム前後の写真

BEFORE



昭和40年代の3DKファミリータイプのマンション。電力制限や構造上、環境改善に必要な設備設置が難しい状態。



狭い水廻り



エアコンダクトは窓ガラスから。



部屋と部屋の間には段差。

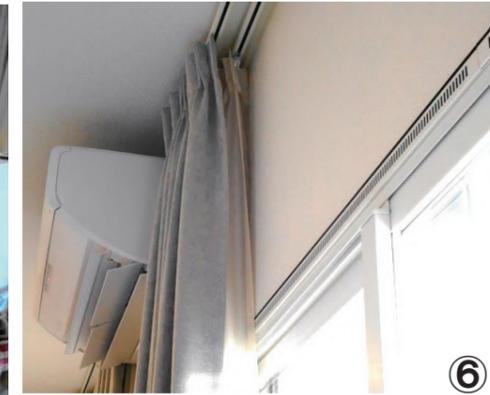
AFTER



家で過ごす時間が長いので日当たりや室温・換気などの快適性が不可欠。WEBカメラと手摺で介護をアシスト。安心して外出できる。



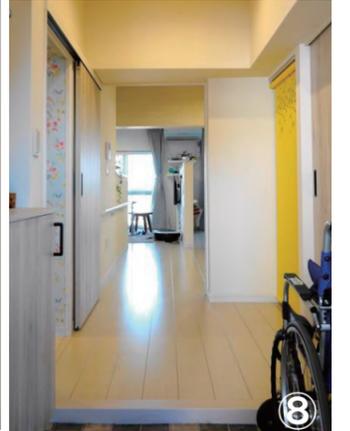
退院後は、仕事スペースにお母様のベッドを置き、お互いの安心感を。以前は、光と風が入らなかった場所が、明るく爽やかな空間に。



⑤ カメラ  
換気は、給気口がないため既存窓からの隙間風を利用。カラリ付き内窓で空気を調整・換気する。外気を直接入れず、ファンクションおくため換気による温度変化の影響を軽減している。



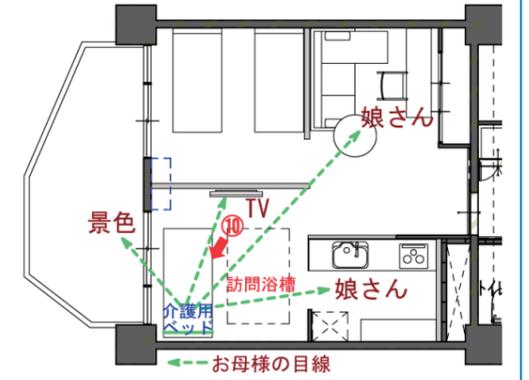
⑦ 車椅子で入室しても、ゆったりバリアフリー、直線動線、全引戸。介護の大きな器具や荷物などの搬入も楽にできる。



⑧ 介護の大きな器具や荷物などの搬入も楽にできる。



退院から1年半後



お母様の病状の変化に合わせて配置変更し、娘さんの動線を改善。お母様の目線にも配慮。いろいろなことが楽になったとのこと。

- ・「母がベッドに寝ているときの世話がしやすくなった。」
- ・「訪問入浴の際、浴槽がベッドの横に置いて介助の負担が軽減された。」
- ・「母の就寝時、私が仕事する際の明かりやPCの力チカチカ音を気にしなくて良くなった。」

退院から1年半後

リフォームの動機/設計・施工の工夫点/施主の感想・満足度/住宅の価値を向上させた内容など

【動機】 離れて独居していた母が病気になり、要介護度5に。いずれ近居する予定で購入してあったマンションを、退院後二人で暮らすのに困らないようにしたい。

【設計・施工の工夫点】 築50年以上の使い勝手の悪さを改善し、設備制限がある中、住宅性能を抜本的に見直すことと併せて、娘さんが介護と仕事を両立可能にすることが課題と感じた。

■分断した部屋を低い仕切り壁の一室にすることにより、見守り易さ、室温・換気環境、採光の問題を解決。

■お母様の状態に合わせて、必要な介護の変化や距離感など、様々な変化に対応できる自由度の高い間取りに。

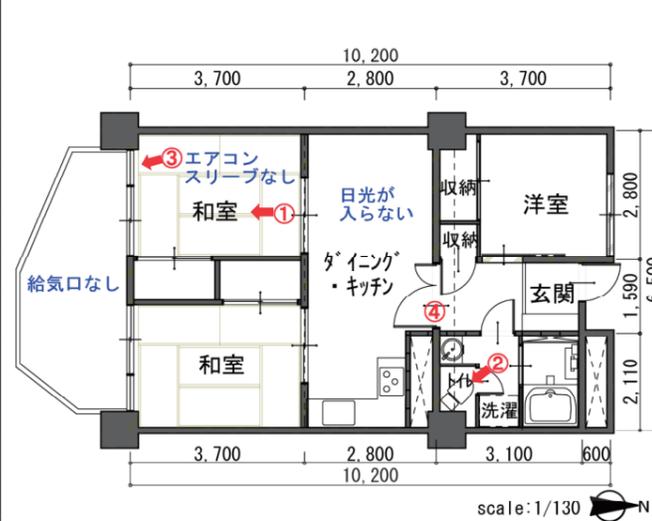
【施主の感想】 ■電力制限で24畳の部屋に14畳用のエアコンを設置しているが十分快適で省エネ。■誤って換気を止めた時、空気が重くなり換気が重要だと感じた。■外部の介護を受けており、母には社会とふれあう大切な時間。様々な人・器具が入り出すが、その人達にも便利かつ気持ちよく対応してもらえる環境ができた。母にも良い影響を及ぼしている。

性能向上の特性  
バリアフリー性能、温熱性能、防音遮音性能、室内空気環境

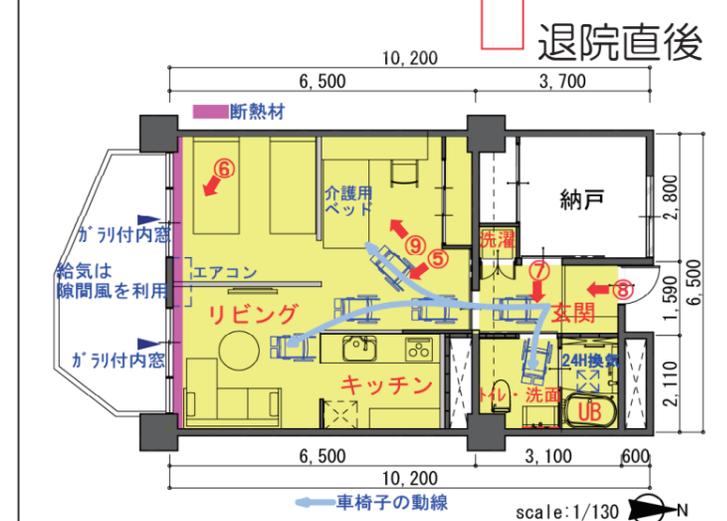
特に配慮した事項  
車椅子移動と室温のバリアフリー化。断熱材:スタイロフォーム20mm 内窓:複層・遮熱・UVカットガラス / 介護に配慮した換気環境:換気回数0.7回/h

所在地	神奈川県横浜市	新築竣工年	1969年	築後年数	51年	施工期間	60日間
該当工事床面積	54㎡	総工事床面積	54㎡	該当部分工事費	830万円	総工事費	830万円
居住者構成	65歳以上:1人 / 15~64歳:1人 / 15歳未満:0人 /						

リフォーム前の平面図



リフォーム後の平面図



リフォーム部位: ■居室/ ■台所/ ■浴室/ ■便所/ ■洗面所/ ■廊下/ □階段/ ■玄関/ □クローゼット/ □マンション共用部分/ □その他